

令和3年1月13日

一般社団法人日本施設園芸協会
会 員 各 位

日本型大型（1ha）モデルハウス仕様の実証・支援事業における
賛同支援会員の募集（2020年度）のご案内（ご協力のお願い）

一般社団法人日本施設園芸協会

日頃より、当協会の活動にご理解とご支援を賜り、また、施設園芸産業の発展にご貢献いただき、ありがとうございます。

さて、ご存知のように、当協会では、わが国の栽培施設の規模拡大による生産の合理化を推進するため、「日本型大型（1ha）モデルハウス実証・支援事業」を立ち上げ、トマト生産で40t/10a以上の収量を安定して達成するための仕様リストを令和元年3月に提示し、事業を実施するための体制の整備を進めてまいりました。令和2年度より、生産者に実際にモデル仕様に準拠したハウスを建設していただき、モデル仕様ハウスにより目標収量の達成と合理的な生産が可能であることを実証していく段階に入り、実証支援会員の募集と参考ハウスの現地見学会を開催してきました。

その活動における現地検討会や専門家派遣などの運営資金には、協会予算および賛同寄付金を充てることとし、賛同寄付金を拠出いただいた会員を賛同支援会員として、令和元年度より会員の皆様にご協力をお願いしているところです。

令和元年度より、賛同支援会員をメンバーとして、実証・支援分科会を立ち上げ、基本的な運用方法を実施方法書としてまとめ、現在、事業の広報および実証協力会員の募集を進めているところです。

本事業においては、実証ハウスをいくつか採択して現地検討会や実証・支援および検証を実施する計画です。2020年度も賛同支援会員を募集しております。賛同寄付金は1口50万円で、随時お申込みを受け付けています。2021年1月現在で、15社の賛同が得られております。

大型ハウスによる合理的な生産への転換を推進するため、当協会のホームページや総合セミナー、地域セミナー、閲覧効果の高いインターネットでの展示企画など、本事業をいろいろな手段で積極的にアピールをしているところです。

わが国の今後の施設生産および関連産業の持続的な発展に寄与する重要な事業と考えておりますので、多くの皆様の賛同・ご協力をよろしくお願い申し上げます。